独立行政法人国立病院機構
京都医療センター
National Hospital Organization Kyoto Medical Center
外科 診療科長 畑　啓昭
hhata-kyt@umin.ac.jp，@hiroaki_hata

この街の医療をささえる



スタッフ紹介 外科ページ

臨床

- 手術 約1000件/年，Da Vinci Xi 2台（若手も絶賛執刀中）
- 食道癌5~10件, 胃癌45件, 大腸 200件, 肝胆膵65件, 緊急 230件/年
- スタッフは上部・下部・肝胆膵の臓器別チームで専門性が高い
- 肝胆膵外科学会高度技能医修練施設A，胃癌学会認定施設A
  食道外科専門医準認定施設，感染症専門医修練施設
- 化学療法は腫瘍内科専門医が主導
- 他科との垣根が低く、気軽に併診が可能、産婦人科・泌尿器科と合同で骨盤内臓全摘術など拡大手術も行っています

教育

- 屋根瓦方式で教育指導に重点をおいています
- 各自の努力・実力に応じた症例（ロボット, PD, 食道も）を執刀
- 最短での内視鏡技術認定合格に合わせてビデオ撮影
- 外科医人生の基礎となるエビデンスに基づいた周術期管理
- 毎週金曜朝に外科の基本，周術期管理，感染等のレクチャー
- 毎週水曜夕に腹腔鏡・ロボットビデオのフィードバック
- 月1回，臨床研究センターで統計家の先生のレクチャーあり
- 手術手技・学会・研究の教育は各自のやる気に対応します

研究

- 発表する学会は，回数制限なく旅費・宿泊費を支給
- 臨床研究センターに臨床研究の専門家が在籍，コンサルト可能
- 国立病院機構で研究案が採択されれば大型研究費の支給あり
  ヘルニアや術後感染症進行中、レジデント研究費獲得歴もあり
- JCOG胃癌・大腸癌グループに参加，多数の臨床試験の経験可能
- 新規抗癌剤や抗菌薬の治験もあり
- 当院の研究提案が京都大学の多機関共同研究にも採用

Work-Life Balance

- 全患者複数主治医制，平日は忙しいが夜間土日祝は完全当番制
- 年休は自由に取得推奨
- 2026年度は，スタッフ8名，レジデント5~6名体制
- 2011年以降女性外科医も継続在籍、男性の育休取得歴もあり
- 時間外の研鑽も上級医がしっかりサポートするWork重視もあり

～～～メッセージ～～～

レジデントの先生達の成長を楽しみにしているスタッフのもとで，ヘルニアから，
内視鏡技術認定や高度技能医に必要な手術手技，緊急手術に至るまで，
こだわって十分に学んでもらえる環境です．また，外科医人生において，どの施設で働いても困らないように，エビデンスに基づいた周術期管理や外科感染症の基本も学べます．
是非当科のメンバーの一員となってください．お待ちしています．